

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第1部門第2区分

【発行日】令和7年7月8日(2025.7.8)

【公開番号】特開2024-34198(P2024-34198A)

【公開日】令和6年3月13日(2024.3.13)

【年通号数】公開公報(特許)2024-047

【出願番号】特願2022-138286(P2022-138286)

【国際特許分類】

A 6 3 F 7/02 (2006.01)

10

【F I】

A 6 3 F 7/02 3 2 6 Z

A 6 3 F 7/02 3 2 0

A 6 3 F 7/02 3 3 3 A

【手続補正書】

【提出日】令和7年6月29日(2025.6.29)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

20

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

遊技球を発射可能な発射手段と、

遊技機本体に開閉可能に配置された開閉扉の開放状態／閉鎖状態を検出可能な扉開放検出手段と、

扉開放エラー報知を実行可能なエラー報知手段と、

遊技動作を司る第1制御手段と、

前記第1制御手段と通信可能な第2制御手段と、

30

を備える遊技機であって、

前記第1制御手段は、

前記開閉扉が開放状態である場合に、扉開放エラーを判定可能なエラー判定手段と、

前記エラー判定手段により前記扉開放エラーであると判定された場合、前記扉開放エラー報知に係るエラー処理を実行するエラー処理実行手段と、

前記開閉扉が開放状態である場合に、遊技球の発射を制限する発射制限手段と、を備え、

前記第2制御手段は、

前記開閉扉が開放状態である場合に、遊技機の外部に設けられた外部装置に対して所定信号を出力可能な外部信号出力手段を備える、

40

ことを特徴とする遊技機。

【請求項2】

前記第1制御手段および前記第2制御手段のそれぞれに対して前記扉開放検出手段からの検出信号が入力されるように構成された、

ことを特徴とする請求項1に記載の遊技機。

【手続補正2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 0 6

【補正方法】変更

【補正の内容】

50

## 【 0 0 0 6 】

本発明の上記目的は、下記の手段によって達成される。

( 1 ) 遊技球を発射可能な発射手段と、

遊技機本体に開閉可能に配置された開閉扉の開放状態 / 閉鎖状態を検出可能な扉開放検出手段と、

扉開放エラー報知を実行可能なエラー報知手段と、

遊技動作を司る第1制御手段と、

前記第1制御手段と通信可能な第2制御手段と、

を備える遊技機であって、

前記第1制御手段は、

前記開閉扉が開放状態である場合に、扉開放エラーを判定可能なエラー判定手段と、

前記エラー判定手段により前記扉開放エラーであると判定された場合、前記扉開放エラー報知に係るエラー処理を実行するエラー処理実行手段と、

前記開閉扉が開放状態である場合に、遊技球の発射を制限する発射制限手段と、を備え、

前記第2制御手段は、

前記開閉扉が開放状態である場合に、遊技機の外部に設けられた外部装置に対して所定信号を出力可能な外部信号出力手段を備える、

ことを特徴とする遊技機。

( 2 ) 前記第1制御手段および前記第2制御手段のそれぞれに対して前記扉開放検出手段からの検出信号が入力されるように構成された、

ことを特徴とする上記(1)に記載の遊技機。

10

20

30

40

50